

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1471902641
法人名	株式会社 サンライフ
事業所名	グループホーム サンライフ三春町
訪問調査日	令和5年3月17日
評価確定日	令和5年4月6日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は23項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和4年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902641	事業の開始年月日	平成17年4月1日
		指定年月日	平成17年4月1日
法人名	(株) サンライフ		
事業所名	グループホーム サンライフ三春町		
所在地	(238-0014) 神奈川県横須賀市三春町6-85-39		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和5年3月7日	評価結果 市町村受理日	令和5年5月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた環境を離れても、不安なく自己の能力を最大限に発揮できるようサポートし、自分らしく暮らしていただけるよう努めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和5年3月17日	評価機関 評価決定日	令和5年4月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>●この事業所は、株式会社サンライフの経営です。同法人は、横須賀市三春町でグループホーム1ヶ所、デイサービスを1ヶ所を運営している他、横浜市青葉区でグループホームを1事業所を運営しています。ここ「グループホームサンライフ三春町」は、2階建ての建物の2階部分を1ユニットのグループホームとし、同建物の1階部分には、同法人のデイサービスが併設されています。立地は、京浜急行の「堀ノ内駅」から徒歩10分程度の高台の住宅地の一角で、リビングから海を見渡せる眺望の良い場所にあります。</p> <p>●事業所では、法人の「サンシャイン・オブ・ライフ＝太陽のような明るい生活」を理念として踏襲し、家庭の延長のサービス提供を目指しています。自己の能力を最大限に発揮して自分らしく生きるために、みんなで歌を歌い、散歩で気晴らしをしています。そして、職員と買い物に行き社会性の維持も支援しています。</p> <p>●医療との連携支援体制が整っています。利用者がその人らしい生活を送ることができるように尊厳の有る生活を保ち、生活の質が最高のものとして実現で切るケアに取り組んでいます。通常のかかりつけ医体制の他に、重度化や終末期に向けた取り組みが充実しています。重度化した場合の指針を備えて、医療との24時間連携体制、多職種協働チームケア体制、重度化に対応する各職種の役割、看取り介護への対応、職員に対する教育・研修などが詳細に明文化されています。年末から今年の内初めにかけて、この指針に基づいて2名の方の看取りケアを行っています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム サンライフ三春町
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	✓	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	✓	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	✓	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	✓	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	✓	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	✓	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	明るく楽しく生活して頂けるよう努めています。	法人の理念「サンシャイン・オブ・ライフ＝太陽のような明るい生活」を事業所の理念とし、家庭の延長のサービス提供を目指しています。自己の能力を最大限に発揮して自分らしく生きるために、みんなで歌を歌い、散歩で気晴らしをしています。そして、職員と買い物に行き社会性の維持も支援しています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染拡大の影響により、町内活動なども大幅に縮小されてしまっています。以前参加させて頂いていたイベントも中止されている為、ご利用者の地域との接点はとても少ない状況です。	町内会に加入して地域との交流をしています。回覧板が来て赤い羽根募金に協力しました。健民運動会や夏祭りなど地域の行事はコロナ感染症の影響ですべて中止となっています。夜間のセンサーでの照明装置や非常用のサイレン装置は、日常的に地域の防犯予防に貢献しています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で、認知症の方についての理解を深めて頂けるような話題を提供しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2か月に1回開催しています。感染予防の為、書面での開催も導入しています。	2ヶ月に1回、奇数月に開催しています。民生委員、自治会役員などの参加を得て、事業所の状況報告を行い、自治会の行事などの情報をお聞きし、防災面についても話し合いを行っています。市の職員や家族の参加は感染症拡大防止の観点から見送られています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じてご協力頂いています。	コロナ問題で、県や横須賀市からマスク、ゴム手袋などの配給もあります。地域包括支援センターは運営推進会議に出席されて交流しています。グループホーム協議会の活動、研修は行われています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会設置。 身体拘束の事案は発生していません。	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的に会議を開催しています。会議では、転倒のリスクと拘束の関係など具体的な事例を取り上げ、話し合い全職員で共通認識を持つようにしています。年度末には、身体拘束自己点検票も実施し、身体拘束のないケアの実践を再認識しています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会設置。 日頃から定義を意識して業務に取り組んでいます。	横須賀市の高齢者虐待対応マニュアルに基づいて業務に取り組んでいます。緊急やむを得ない場合例外的に身体拘束を行う際の要件、切迫性、非代替性、一時性を遵守した取り組みをしています。ベッドの四点柵は虐待に該当しないように支援をしています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修や資料などを通じて、制度や仕組の理解に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必要に応じて、複数回に渡ってご説明し、ご理解、納得頂けるよう努めています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や連絡の際などを通じて意見や要望を確認するように努めています。	家族の面会は事前に連絡をしていただき、2,3人を限度に行っています。家族とは1ヶ月に1,2回以上電話にて話し合い、意見・要望を聞いています。毎月の家族への手紙は、必要な人のみに出しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務、会議などを通じて意見交換や要望お確認を行っています。	朝・夕の申し送りでは、利用者の状況についての意見のすり合わせが行われ、毎月1回の会議では、研修も含め、業務についての意見交換も行っています。業務改善の提案などがあれば取り上げ、業務に反映させています。法人の管理者会議が月1回あり、会議内容は職員と共有しています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な賃金見直しなど行っています。	職場環境整備の7三大要素は、職員が生涯設計が立てられること、就労に対する適正な対価・労働条件・労使契約の透明性、職場のコミュニケーション・風通しです。管理者は、職員個々の勤務状況を把握し、給与水準、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう整備に努めています。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を軸に実施しています。	管理者は職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、社内研修を軸にして働きながらトレーニングしていくことを進めています。外部研修について、職員の希望があれば、交通費会社負担で研修を受けていただいています。福利厚生では、宿泊施設の割引券などを用意しています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	協議会への参加により、様々な情報を得ることが出来ている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴することを大切に、良好な関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分な説明を心掛け、不安なくサービスが利用できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	要望などを十分に確認し、経過とともにニーズの変化などについても話し合うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活しているという気持ちになっていただけよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会にはまだ制限は残っていますが、出来るだけご利用者と家族が触れ合える機会が得られるよう努めています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	必要に応じて対応していきます。	社会参加や外部との交流は、利用者にとって、認知症進行抑制にもつながる大切なことなので、コロナ感染症の収束次第で従来の活動に戻すことにしています。現在は、食材の買い物で野菜屋、業務用スーパーに同行しています。また、CDを買いに行く人、訪問理美容を利用している方もいます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	良好な関係が維持できるよう、スタッフが間に入るなどの対応を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて対応させていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	良好な関係維持に努めています。 言動いとらわれず、内面についても意識しています。	入居時のアセスメントを参考にしていますが、住環境が変わるだけで、事前に聞いた内容と異なるケースも多く、日々の会話や職員の気づきを通して、利用者の思いや意向の把握に努めています。食後なのに食べていないとの訴えなどには、上手く対応し、話題を変えるなどまるく収める工夫も行っていきます。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	継続的に注視しています。 落ち着く環境づくりを大切にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを大切にしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングや日々の業務内でご利用者の様子などの情報を共有し、必要に応じて計画のも直しもしています。	介護・支援経過記録を基に、モニタリングを行い、介護計画に繋げています。短期目標を1年、長期目標を2年に設定していますが、定期的なカンファレンスで、利用者の変化などの情報を共有し、必要に応じて介護計画の見直しも実施しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録にて管理しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	可能な限り対応できるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個別対応を必要に応じて実施しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望者には協力医療機関の訪問診療を利用して頂いております。専門的な治療などの必要がある場合や利用者、家族が希望する際にはベット外来受診して頂く事もあります。	協力医療機関の内科医師が、毎月2回の訪問診療を受診しています。歯科医は希望者のみ週1回の往診を受診しています。1階のデイサービスの看護師が、グループホームの看護師として配置されており、週1回の定期来訪以外でもきめ細かな対応が可能となっています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じて、報告や相談を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の情報提供の実施。 速やかに帰所して頂けるよう支援しています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族への指針を説明。 状態の変化などに応じて、適宜意向を確認したり、改めてご説明など行っています。	契約時に重度化・看取りの指針について説明し同意書を取り交わしています。状態に変化があった場合は、事業所での看取りを希望される場合には、事業所・家族間、協力医療機関との話し合いの上に看取りケアを行うとしています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の業務や研修などを通じて周知しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練などの模擬演習実施。 災害時の避難場所や経路についても周知しています。	年2回の避難訓練を実施、うち1回は消防署に立ち合いを依頼しています。三春町全域(1-6丁目)の防災訓練が年1回地元の小学校にて行われており、例年は管理者が参加していますが、今年度は中止となりました。備蓄品は水や食糧の他、ヘルメット、簡易トイレなどを用意しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	性格、生活歴、週刊、価値観などご利用者の背景に留意して自尊心を傷つけないよう努めています。	入居時のアセスメントで把握した生活歴、習慣、性格を参考にしつつ、日頃の利用者の言動、表情、態度などから個々の利用者の特性を把握したうえで、利用者の人格を尊重し、誇りを損なわないよう心掛けています。名前は基本的に苗字で声掛けしますが2人いる場合は名前にしています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話などでも、自己選択をしていただけるような声掛けなど行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のリズムやその時々のお気持ちを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	必要に応じた支援を行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いなどにも配慮して献立を決めています。調理に参加できる方はして頂きます。	利用者の関心事の食事支援には注力し、利用者の意向を反映したメニューを採用しています。今年の行事は、節分、ひな祭り、お花見、節句、七夕、流しそうめん、敬老会、クリスマスで、それぞれの行事食を楽しんでいます。食材は地元商店の八百屋、業務スーパーに買いに行っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回摂取状況を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要に応じた支援を行っています。 希望者は訪問歯科診療を利用できます。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	必要に応じた支援を行っています。	介護・支援経過記録に排泄記録を書き入れ、個々の利用者の状態に合わせてトイレ誘導を行い、自立排泄に向けた支援を心がけています。排泄の感覚のなくなった利用者でも一定の間隔で、トイレにお連れしています。排泄支援を行う際は、羞恥心やプライバシーに留意して対応しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や適度な運動など個々に必要を考えられる働きかけを行っています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調やその時々のお気分の变化にも気を付け支援しています。時間や曜日は必ずしも固定ではありません。	週2回、午前中を基本として入浴支援を行っていますが、利用者の意向を考慮して午後に入浴支援を行うこともあります。バイタルチェックと本人の体調に配慮しながら入浴を促すようにしています。入浴拒否のある方は、職員を変えたり、別の口実で浴室にお連れするなど工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活リズムを大切にしています。但し、寝すぎない様に適宜覚醒や離床も促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必要な支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	可能な方にはお手伝いをさせていただくこともあります。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周囲の散歩が主で、個別に買い物へ行くこともあります。	今年度も、地域の行事の中止や外出行事の自粛を強いられ、利用者の外出が制限されています。外気に触れることで気分転換を図り、歩ける方は歩行で近所の公園散策に行っています。また、感染対策を行いながら買い物の手伝いとして、地元の野菜屋さんや業務スーパーに同行しています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	必要に応じて対応させていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会の機会は制限もある為、電話連絡などの方法で近況報告したり、必要に応じて直接ご本人とご家族で話して頂く事もあります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不安なく落ち着いて過ごしていただける環境づくりは常に気を付けています。	年末の12月27日にコロナクラスターが発生したことの対応で共用空間は、利用制限中にありました。空気清浄機をリビングに設置し、アルコール消毒も実施しています。毎朝掃除をし清潔感を保つと共にリビングには、行事写真や季節に応じた装飾を行っています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部の座席は利用者同士の交流のしやすさなどにも気を付けて配置を決めさせて頂く場合もあります。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み禁止物以外であれば、慣れ親しんだものをお持ちいただいています。	入居時には、自宅で使い慣れた家具や思い出の調度品などを持ち込んでいただくよう伝えていきます。ベッドは原則持ち込みですが、前の方が置いていったベッドを使用される方が多く寝具のみ持ち込まれてる方が多いです。家具・備品をほとんど持たず、さっぱりした居室もあります。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路やトイレなどに手摺がっています。安全性への配慮と自立支援に繋がる環境となっています。		

目 標 達 成 計 画

事業所
グループホーム サンライフ三春町

作成日 令和5年3月17日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	49	コロナウイルスによる感染防止対策により、特に高齢者の外出や社会参加が容易ではなくなってしまった。 心身の活性を図り、より生き生きとすごして頂く必要がある。	外出（社会参加）機会の増加	感染対策を行いながら買い出しの手伝いや個別の買い物支援を行っていく。	1年
		同上	気分転換と運動の促進	外気に触れる事で気分転換を図り、歩ける方は歩行することでの運動効果を得て頂く。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。